

第15回草津市総合計画策定委員会概要	
日 時	平成21年11月24日(火) 18時30分～19時40分
会 場	庁議室
出席者	橋川委員長、山岡副委員長、三木委員、加藤委員、北川委員、田内委員、西村委員、善利委員、中村好委員、片岡委員、岸本委員、上寺委員、平井委員、田村委員、森委員、林田委員、中村良委員、進藤委員代理

1. 開会

2. 議事

1) リーディング・プロジェクトについて

事務局から説明

《意見等》

- ・資料1-1の5ページの「子どもの元気と発達支援」とあるが、この表現で良いのか。あえてこれの特記する必要があるのか。
- ・同じプロジェクトの概要に、「子どもの人権が尊重され」とあるが、大人の人権は載せなくて良いのか。また、「大人と子どもの地域協働」の概要に「地域社会の構築」とあるが、「地域学習社会の構築」に修正願いたい。
- ・資料1-1の3ページにある、エコミュージアムのプロジェクトについて、エコミュージアムとごみの資源化等の拠点づくりの2つの内容になっているが、プロジェクトのタイトルから見て、エコミュージアムだけに特化した内容に修正したい。ひと括りになっているので、分割するか統一する必要がある

→当初は分けていた。ただ、場所を移したこともあり、他とのバランスを考えてまとめた。

- ・5ページの成果指標に、「子どもと大人が共同して、地域の課題に取り組む」とあるが、これだけがマイナスの指標になっている。高まるというような表現に修正できないか。
- ・3ページの草津川廃川敷地のプロジェクトについて、「防災空間」等とあるが、これは何を意味するのか。

→まちなかの活力やうるおいを生み出すようなものを想定している。

→審議会からは、滋賀県を先導していくようなプロジェクトにしていくという視点で考えていくことが必要であるとの意見であった。

- ・4ページの「はつらつ草津の未来プロジェクト」について、中心に「まちなか」が人々の活動の舞台となるとあるが、活力という言葉も入れる必要があるのではないのか。活動してもらっただけでは、活力は生まれてこない。

2) 国土利用計画について

事務局から説明

《意見等》

- ・市街化区域農地は現在開発が難しい土地しか残っていないのではないか。そうすると、今後も市街化区域農地はこれだけ減るとは考えにくい。
- ある程度、今までの推移を見ながら算出している。たしかに、全てが同じ条件の土地ではない。

—以 上—